平成25年10月29日

各　　位

会 社 名　株式会社ＳＲＡホールディングス
代表者名　代表取締役社長　鹿島　亨
（コード：3817，東証第一部）
問合せ先　常務取締役管理本部長 金﨑 俊明
（ＴＥＬ．03－5979－2666）

平成26年３月期第２四半期　投資有価証券評価損の戻入れに関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成26年３月期第１四半期において減損処理による投資有価証券評価損を計上いたしましたが、平成26年３月期第２四半期において、時価の回復により投資有価証券評価損の戻入れを行いましたのでお知らせいたします。

記

１．平成26年３月期第２四半期における投資有価証券評価損

	単　体	連　結
平成26年３月期第２四半期会計期間（平成25年７月１日から平成25年９月30日まで）の投資有価証券評価損の総額（＝Ａ－Ｂ）	△446百万円（△：戻入益）	△778百万円（△：戻入益）
（Ａ）平成26年３月期第２四半期累計期間（平成25年４月１日から平成25年９月30日まで）の投資有価証券評価損の総額	0	0
（Ｂ）直前四半期（平成26年３月期第１四半期）会計期間（平成25年４月１日から平成25年６月30日まで）の投資有価証券評価損の総額	446百万円	778百万円

※四半期における投資有価証券の評価方法は、洗い替え法を採用しております。
従って、平成26年３月期第３四半期および通期の投資有価証券評価損の計上額は変動する場合、もしくは計上しない場合があります。
※当社の決算期末は３月31日です。

２．今後の見通し

平成26年３月期第２四半期（累計）および通期の連結業績予想につきましては、現在のところ、平成25年５月９日発表の業績予想値に変更はございません。

３．投資有価証券評価損を戻入れする理由

当社グループが事業投資を行っている株式会社ＳＪＩ（以下「ＳＪＩ」という）は、海外連結子会社の監査遅延により、平成25年３月期有価証券報告書の提出が法定期限（平成25年７月１日）に間に合わない見込みとなり、大阪証券取引所(平成25年７月16日に東京証券取引所に統合)から平成25年６月27日に監理銘柄（確認中）指定を受けました。その結果、株価が下落し、平成 26 年３月期第１四半期においては、減損処理による投資有価証券評価損を計上しました。

ＳＪＩは平成25年８月１日に有価証券報告書を提出し、翌２日には監理銘柄（確認中）の指定が解除されました。その後株価が回復し、平成26年３月期第２四半期においては、投資有価証券評価損を計上する必要がなくなったため、投資有価証券評価損の戻入れを行いました。

４．ＳＪＩに対する当社の今後の対応・支援

ＳＪＩに対する当社の今後の対応・支援につきましては、有価証券報告書提出遅延の原因となった海外連結子会社等の状況も十分に注視しつつ、当社の企業価値および株主価値向上の観点から検討してまいります。

以　上

（参　考）　当期連結業績予想および前期連結実績　（平成25年５月９日公表分）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期連結業績予想 (平成26年３月期)	34,900百万円	2,900百万円	3,000百万円	1,860百万円
前期連結実績 (平成25年３月期)	32,168百万円	2,436百万円	2,883百万円	1,681百万円